

加美町 地域おこし協力隊



VOL. 6

【6月～8月の主な活動報告】

○地域おこし協力隊プロデュース 加美ライブ in 畑！！



7月25日(日)、加美町月崎地区にて「加美ライブ in 畑！！」を開催しました。イベントは、協力隊卒業生坂上昌哉さん協力のもと、農業×音楽をテーマに①トマトの収穫体験②畑で音楽ライブの二本立てで行いました。

加美町の魅力は、どこまでも続く田園風景と美味しい野菜ですが、それを支える農家さんは高齢化をたどる一方…。絶対に次世代に伝えなくては！と考えた時に、北川隊員の中で農業と音楽のコラボが閃きました。



坂上さんは、「カラダは食べたものでできている！」をコンセプトに固定種の野菜を自家採種しながら作っています。今回は、ミニトマト「ステラミニ」(酸味・甘味のバランスが良い)、中玉「マティナ」(日光が強くなるとぐーんと甘味がでる水分たっぷりジュシー)、大玉「アロイトマト」(奇跡のトマトと言われ、甘味・旨味・果肉の美味しさ全て超一級品)の三種類を収穫体験しました。採れたてのトマトを試食すると、どれも驚くほど美味しかったです！参加者の皆さんも収穫体験を楽しみながら、採れたてのトマトを味わっていました♪

収穫体験後は、見晴らしの良い畑へ移動し音楽ライブを開催しました！トップバッターは猪股加美町長。ご自身で作詞・作曲された歌で会場を盛り上げていただきました。続いて、参加者の佐々木さん。サククスでジャズを熱く演奏し、歌と演奏の両方で楽しませてくれました。三番手で登場した坂上さんは、自身の音楽好きを語り、エフエクターを使った演奏を披露。北川隊員は夏らしい曲をピアノの優しい音色に乗せて演奏しました。ライブの最後は協力隊OB×現役隊員のスペシャルコラボで演奏しました。どの演奏も素晴らしい、夏の暑さを忘れるほど盛り上がりました！

今回のイベントで、農業への興味が深まると共に音楽や地域交流の楽しさを感じて頂けたなら幸いです。最後に、本イベント開催にあたり、お力添えいただいた皆様。皆様のおかげで無事イベントを成功させることができました。本当にありがとうございました！



○神社清掃



6月下旬、加美町月崎地区にある「熊野神社」の掃除をお手伝いさせていただいたため、現在神社を管理されている本田さん(月崎地区)のもとを訪れました。今回掃除に参加したのは北川隊員、尾形隊員、森隊員。境内から拝殿の中まで、みんなで力を合わせ隅々まで綺麗にしました。特に、尾形隊員は屋根掃除を懸命にし、全身泥まみれになりながらも懸命に掃除に励みました。私たちの心まで磨かれた一日となりました。

熊野神社は古くからある神社で、その姿形はほとんど変わることなく現存しています。しかし、いつか誰がこの神社を建てたのかなど、由来に関する事については未だに分かっていない事が多いそうです。

コロナ収束後、いつ人が集まっても良いように、今後も伝統ある神社をピカピカにしていきたいと思えます。

地域おこし協力隊 隊員活動報告

きたがわ ひかり
北川 日香里(2年目)

初めて自ら主催のイベントを企画・実施しました！



初めての主催イベント！

6・7月は自身を成長させる出来事が2つありました。

1つ目はリペアに関することです。今年は、昨年の今頃に比べ多くの学校から楽器修理の依頼がありました。全日本吹奏楽コンクールが2年ぶりに再開した事、新入生の入部に伴い長年使われていなかった古い楽器の修理を行うようになった事が理由のようです。昨年度コンクールが中止になった分、全力で演奏者を支えられるようにと思いを込め、より一層丁寧に修理を行いました。

2つ目は、地域おこし協力隊プロデュースで開催した「加美ライブin畑！」です。5月から地道に計画を練り、7月に実施するまでに約3か月かかりました。企画を実現させる大変さ、企画の意図を参加者に伝える難しさを知るとともに、やりがいを感じることでもできました。他にも、協力隊として自身の活動の幅を広げることができたと思います。

まだまだ至らない点や反省点はありますが、このイベントで学んだことを糧に、今後も積極的に活動していきたいと思っています。そして、より多くの方に私を知ってもらえるよう頑張っていきたいです！



坂上さんに企画説明中



コルク交換は繊細な作業です



眠っていた楽器を蘇えらせたい

よう さいよう
楊 采容(2年目)

今年は、充実した夏を過ごしました！

暑い時期になりましたね！この間、日本人の方に「日本の夏の景色も魅力的ですか？」と聞かれました。確かに台湾は一年中夏で、夏の景色は日本と変わりません。しかし、日本には浴衣や花火大会という文化があり、そこが日本の夏の魅力だと思います。

今年の夏は、初めての体験を沢山しました。例えば、ワサビ植え体験。ワサビは普通の植物と植え方が全然違い、綺麗な水を流しながら小石に植えていきます。しかもワサビは採れるまでに1年半もかかると知り、とても驚きました！そして加美町で自生している「クロモジ」を採りに行きました。クロモジを見たのは加美町が初めてです。環境が良いから自生できるのでしょうか。ワサビ植え体験やクロモジ摘み取り体験などは、地域の方と交流でき、観光客に人気があるのでないかと思いました。

他には、パリンピック開催に伴い行われた、外国人対応救急シミュレーションに傷病者役で参加しました。万が一、選手に何かあった時のために、しっかり訓練が行われており素晴らしいと感じました。選手の皆さんのご健闘とご活躍をお祈りいたします！



ワサビ植えを体験しました



シミュレーションお疲れ様でした！



傷病者役を本気で演じました



加美町に自生している「クロモジ」

おがた しゅうと

尾形 秀斗(2年目)

加美町の魅力を多くの人に知ってもらいたいです！



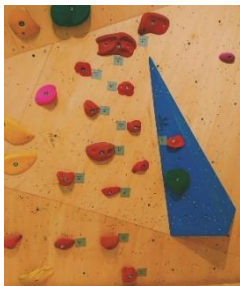
神社清掃は屋根の上まで！

6・7月はやぐらいWALLでの活動をメインにしつつ、新たに加美町観光まちづくり協会での活動がスタートしました。

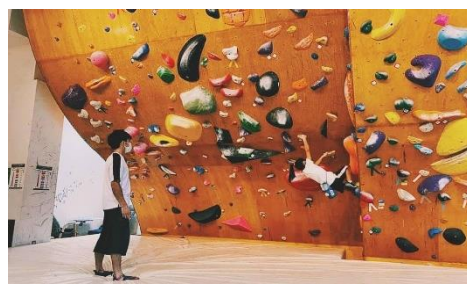
7月に入ってからやぐらいWALLでは、新型コロナウイルス感染状況の落ち着きと夏休みの効果もあってか、新規の方やボルダリングを再開する方が増えてきました。この施設にはキッズ向けの低めの壁が2面あり、1歳からでも登れるコースが設定されています。ボルダリングが初めてで敷居が高いと感じている方も、私が丁寧にインストラクションさせていただきますので、ぜひ一度、ご家族で足を運んでみてほしいです。

新たにスタートした観光まちづくり協会の活動では、秋に開催されるイベントの準備や町内のお店をPRするための取材で町の色々な所に出没しております。見かけた際は声をかけていただけると嬉しいです。

イベント開催には様々な制限が課され、町の魅力を充分にお伝えすることが難しい状況です。そこで、少しでも町の魅力お届けできるように、今後も情報発信に力を入れていきたいと思っています。



1歳でも登れる！？



子どもたちに楽しさを知ってもらいたい



まちづくり協会での活動風景

【6月より新隊員が加入しました！】

もり ひかる

森 耀(1年目)京都市出身 所属 農事組合法人アグリ神明

就任してからバタバタと忙しいですが、楽しいです！

皆様初めまして。6月より地域おこし協力隊に就任しました森耀です。小野田地区鹿原にあるアグリ神明^{しんめい}で農業の振興を目的として活動しています。私は京都出身で大学在学中に公認会計士試験に合格し、大阪で1年、東京で3年、監査法人で働いておりました。

任用時期はちょうど田植えが終わった時期だったので、そこから大豆播種・草刈り・獣害対策の電気柵設置等慌ただしく活動しています。

また、その作業とは同時進行でハウスでのほうれん草栽培にもチャレンジしています。水稲がメインの農家の方の多くは育苗ハウス用のビニルハウスを有していますが、育苗時期以外は有効活用されていない事が多いため、そうしたハウスを利用してほうれん草を栽培することにより施設の利用率を高め収益性の向上に寄与すべく活動していきます。

着任後1か月はバタバタと作業をこなしていき、ようやく7月からほうれん草播種を行えることとなりました。順調にいけば9月上旬に収穫予定です。また、ここで成果をご報告できればと思います。



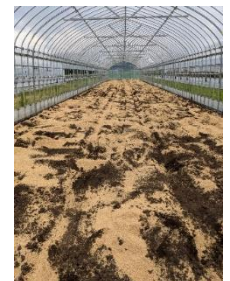
よろしくお願いします



防除作業中の様子。対カメムシ！

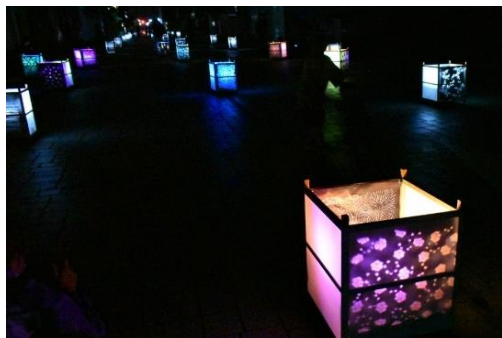


真剣に草刈り中



もみ殻で排水性の高い土に

○未来へのプロムナード～魂の記憶～



8月12日(木)、加美町中新田花薬小路商店街でイベントのお手伝いをさせていただきました。

中新田は昔から商人の町で、商売が忙しくなるお盆の前日の夜にお墓参りをする習慣があります。昨年度に続き、今年度も残念ながら「先祖様を大々的に迎え入れることが困難な状況であるため、商店街の歩道に灯籠を並べてお迎えすること。」

灯籠の内面には染物用の型紙が張り付けてあり、この型紙は呉服店「染萬」さんが所有している、実際に着物の染で使われていた型紙です。とても古いものでひとつひとつ手彫りで繊細に作られているため非常に貴重です。

当日は、商店街に灯籠を並べるなどのお手伝いをしました。点灯後、辺りが暗くなるにつれて灯籠は徐々に淡い色に染まってゆき、ぼんやりと浮き出る型紙の模様はどれも神秘的でした。本来の「先祖様のお迎えとは異なりましたが、この美しい灯籠に「先祖様も喜ばれたのではないでしょう」か。

小雨の中ではありませんでしたが、無事開催することができて良かったです。

○協力隊 OB・OG からのお知らせ

【加美ヤングイチ開催しました！】

7月23日(金)、やくらい薬師の湯裏手に位置する旧わさび茶屋にて、地域おこし協力隊 OB・OG が中心のイベントを開催しました。このイベントには、「若い力で加美町を盛り上げていきたい！」という思いが込められています。

第一回目となる今回は、元協力隊よりキッチンカー【Kamiru】の「地元野菜をふんだんに使った夏野菜カレー」、協力隊 OBOG で構成された【プラビラボ】メンバー栽培の「新鮮野菜」【モリヒト yuwaku】の「クロモジ茶」販売の他、楊隊員プロデュース「台湾カステラ」の販売、駄菓子屋竹とんぼさんの出張販売、坂上友恵さんによるヨガマッサージ体験「プラナサージ」、ヤギのゆきちゃん「ふれあいコーナー」と盛り沢山の内容でした。

暑い中でしたが多くの方にご参加いただき、カレーも野菜もカステラも完売しました。次回の開催内容も企画中の事ですので第二回をお楽しみに♪



○協力隊から皆さまへ

加美町地域おこし協力隊は現在地域活性化のため、商店街 PR やイベントのお手伝いをしています。

地域で「こんな企画を考えているんだけど人手が不足して…」等あれば是非お気軽にお声掛け下さい♪皆さんと一緒に地域のためにお手伝いさせていただきます！



編集後記

【発行元】

加美町地域おこし協力隊瓦版

〒981-4292

加美町字西田三番5番地

ひと・しごと推進課

0229-63-5611

制作・編集 地域おこし協力隊 北川

隊員になり早1年半。時が過ぎるのは早いもので、あつという間に今年の折り返し地点にきました。7・8月はとてもむし暑く、蟬の鳴き声が響き渡っていました。今年はオリンピック・パラリンピックが開催され、日本もメダルを沢山獲得しました。世間の「暗いニュース」で心が沈んでいる中、選手の方々は人々に勇気と感動を与えてくれました。私たちも暗いニュースに負けず蟬のようにパワフルに活動していきます！

H・K